

簡易公募型プロポーザル方式に準じた手続に係る手続開始の公示
(建築のためのサービスその他の技術的サービス(建設工事を除く))

次のとおり技術提案書の提出を招請します。

令和6年1月26日

支出負担行為担当官

北海道開発局 室蘭開発建設部長 佐々木 純

1 業務概要

- (1) 業務名 様似漁港外2港基本設計その他業務(電子入札対象案件)
(電子契約対象案件)
- (2) 業務内容 本業務は、様似漁港外東防波堤(改良)の耐津波改良を目的にF部～I部の基本設計を行うとともに、様似漁港道路(補修)G路線とH路線の老朽化に伴う詳細設計、三石漁港-3.5m岸壁(改良)の耐津波改良を目的とした上部工の細部設計、加えて、新設する庶野漁港東護岸の背後吸出し対策の検討を行う。また、様似漁港と庶野漁港において発生する浚渫土砂の処理方法として、背後盛土や埋立土への活用に向けた土砂改良のための試験や庶野漁港における検討を行い、今後の基礎資料として整理する。
主な業務内容は以下のとおりである。
 - ・津波シミュレーション【様似漁港】 1式
 - ・基本設計【様似漁港 外東防波堤(改良)】 1式
 - ・詳細設計【様似漁港 道路(補修)】 1式
 - ・細部設計【三石漁港 -3.5m岸壁(改良)】 1式
 - ・吸出し対策の検討【庶野漁港 東護岸】 1式
 - ・浚渫土砂処理方法の検討【庶野漁港】 1式
 - ・改良土の室内配合試験【様似漁港・庶野漁港】 1式
- (3) 履行期間 契約締結日の翌日から令和7年2月28日まで
- (4) 本業務は、資料の提出及び見積の提出等を、原則として電子入札システムにより行う。ただし、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (5) 本業務は、契約手続きに係る書類の授受を、原則として電子契約システムで行う対象業務である。なお、電子契約システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙契約方式に代えるものとする。
- (6) 本業務は、受注者における照査体制を強化し、設計不具合の主要因であるデータ入力時の不注意・確認不足による図面作成ミス(単純ミス)等を減らすことを目的とした照査体制の強化に係る取組(赤黄チェック)の試行業務である。
- (7) 本業務は、国土交通省が提唱するi-Constructionの取り組みにおいて、BIM/CIM(Building/Construction Information Modeling, Management)を導入することによって、ICTの全面的活用を推進し、建設生産プロセス全体でのBIM/CIMモデルの活用による課題解決及び業務効率化を図ることを目的として実施するBIM/CIM活用品業務(発注者指定型)である。
- (8) 本業務に係る見積決定及び契約締結は、当該業務に係る令和6年度予算が成立し、予算示達がなされることを条件とする。

2 参加資格

技術提案書の提出者は、(1)に掲げる資格を満たしている単体企業又は(2)に掲げる資格を満たしている設計共同体であること。

(1) 単体企業

ア 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

イ 北海道開発局における業種区分「土木関係コンサルタント」に係る令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格の決定を受けていること。

ウ 北海道開発局工事契約等指名停止等の措置要領（昭和60年4月1日付け北開局工第1号）に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。

エ 技術提案書を提出しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。（説明書参照）

オ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(2) 設計共同体

(1)に掲げる条件を満たしている者により構成され、業務の特性に応じた分担業務となっている設計共同体であって、「競争参加者の資格に関する公示」（令和6年1月26日付け北海道開発局長）に示すところにより、北海道開発局長から様似漁港外2港基本設計その他業務に係る設計共同体としての競争参加者の資格の決定を受けている者であること。

なお、設計共同体の競争参加資格に関する公示は、北海道開発局ホームページにて掲載する（下記アドレス参照）。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/koujikanri/ud49g7000000zi04.html>

3 技術提案書の提出者を選定するための基準（詳細は説明書による）

(1) 参加表明者の経験及び能力

(2) 配置予定技術者の経験及び能力、手持ち業務の状況

(3) 当該業務の実施体制（再委託又は技術協力の予定を含む。）

4 技術提案書を特定するための評価基準（詳細は説明書による）

(1) 配置予定技術者の経験及び能力

配置予定技術者の資格、同種又は類似業務の実績、担当した業務の業務成績

(2) 業務の実施方針、実施フロー、工程計画

業務の理解度、実施方針の妥当性、実施手順及び工程計画の妥当性

(3) 評価テーマに対する技術提案

技術提案の的確性及び実現性

5 手続等

(1) 担当部局

〒051-8524 北海道室蘭市入江町1番地14

北海道開発局 室蘭開発建設部 契約課 上席契約専門官

電話：0143-25-7027 電子メール：hkd-mr-nyusatsu2@mlit.go.jp

(2) 説明書の交付期間、場所及び方法

令和6年1月26日から令和6年3月11日までの行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行政機関の休日（以下、休日という。）を除く毎日、9時00分から17時00分（最終日は、技術提案書受付締切予定時刻である12時00分）まで、電子入札システムにより交付する。ただし、紙入札により参加を希望する場合は、あらかじめその旨を担当部局へ電話で申し込むこと。申し込み受付後、交付する。

(3) 参加表明書の受領期間、提出場所及び方法

令和6年1月26日から令和6年2月2日までの休日を除く毎日、9時00分から17時00分（最終日は、参加表明書受付締切予定時刻である12時00分）までに、電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は、紙により持参、書留郵便（提出期間内必着。）又は託送（書留郵便と同等のものに限る。提出期間内必着。）により提出すること。提出場所は上記(1)に同じ。

(4) 技術提案書の受領期間、提出場所及び方法

令和6年2月27日から令和6年3月11日までの休日を除く毎日、9時00分から17時00分（最終日は、技術提案書受付締切予定時刻である12時00分）までに、電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は、紙により持参、書留郵便（提出期間内必着。）又は託送（書留郵便と同等のものに限る。提出期間内必着。）により提出すること。提出場所は上記(1)に同じ。

6 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 当該業務に直接関連する他の設計業務の委託契約を当該業務の委託契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無 無

(3) 上記2(1)イに掲げる一般競争（指名競争）参加資格の決定を受けていない単体企業又は2(2)に掲げる設計共同体としての資格の決定を受けていない者（一般競争（指名競争）参加資格の決定を受けていない単体企業を構成員とする場合を含む。）も上記5(3)により参加表明書を提出することができるが、その者が技術提案書の提出者として選定された場合であっても、技術提案書を提出するためには、技術提案書の提出の時に、当該資格の決定を受けていなければならない。

(4) 技術提案書に関するヒアリングを行う場合がある。

(5) 本業務に係る見積決定及び契約締結は、令和6年4月18日を予定しているが、予算成立が令和6年4月19日以降となった場合は、予算成立日に見積決定及び契約締結する。

また、暫定予算となった場合、予算措置が全額計上されているときは全額の契約とするが、予算措置が暫定予算の期間分のみ計上されているときは暫定予算の期間分のみの契約とする。

(6) 詳細は説明書による。